

(公財) 富山県民福祉公園のSDGsの達成に向けた取組

	1 貧困をなくそう	2 健康をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
I. 県民の健康増進のための取組			★	★						★	★						★
II. 地球環境に配慮した管理の実践							★						★	★	★		★
III. 生物多様性の保全				★									★	★	★		
IV. 学びの場としての場を提供	★			★				★		★							★
V. すべての人が安全・安心にすごせる管理			★		★					★	★	★					
VI. 地域との協働による管理			★		★			★			★						★
VII. その他の取組み					★		★					★	★	★			





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

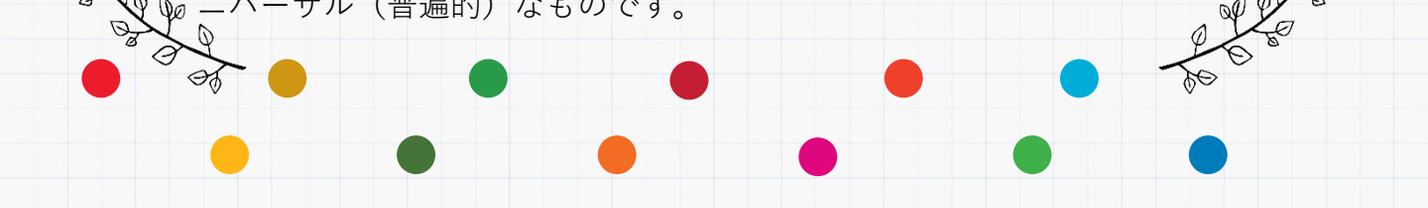


水と緑のみんなの公園
公益財団法人
富山県民福祉公園



SDGsとは？

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものです。



SDGs

宣言

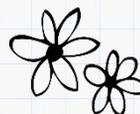
(公財) 富山県民福祉公園は
その目的と経営理念のもと、SDGs (持続可能な開発目標)
に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます



(公財) 富山県民福祉公園は、「公園等の運営を通じて余暇活動の普及啓発、自然保護の普及啓発及び児童の健全育成等の事業を行い、もって県民の健康と福祉の増進に資する」ことを目的としており、SDGs (持続可能な開発目標) に取り組むことは、法人の目的に資するものです。

公園は、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、多様な人々が利用する憩いの場であるとともに、環境保全や防災などの面でも重要な場となっています。こうした公園の特性を活かし、公園利用者の皆様にSDGsを知っていただく機会を設け、SDGs推進の機運を高めていきます。

SDGsの達成に向けた (公財) 富山県民福祉公園の取組



Ⅰ. 県民の健康増進のための取組



● 健康増進プログラム

公園を利用して健康な体づくりに取り組めるよう、グラウンドや広場でのスポーツイベントや、自然環境を活かしたノルディックウォーク体験会などを実施するほか、日常的なウォーキングやジョギングの手助けとなるウォーキングコースを設定しています。また、年齢に関係なく誰もが一緒に楽しめるプログラムとして、「自然観察会」や「カヌー体験教室」などを実施しています。

● 子供の年齢に応じた運動遊び

園内や巡回事業における、年齢・能力に応じた運動遊びやクラブ活動における自然を活用したハイキングの実施などにより、生きる力の涵養を図ります。



自然観察会



幼児サッカー教室

II.地球環境に配慮した管理の実践



● 資源のリサイクル

間伐や草刈等で発生した間伐材や植物残渣は、冬期の薪ストーブに使うほか、堆肥化し園内で再利用するだけでなく、地域住民に園芸用の腐葉土として配布するなどし、資源のリサイクルに努めています。

● CO2削減に向けた管理

公園の施設照明をLED化するほか、駐車場内でのアイドリングストップ呼びかけ、グリーンカーテンの設置などを行い、CO2排出の抑制に取り組んでいます。

● グリーン購入

コピー用紙やグラウンドで使用するラインパウダーなど事業に必要な物品の購入にあたっては環境負荷軽減が図られたものとする等、環境に配慮した物品調達を行っています。



冬期の薪ストーブ



腐葉土の無償配布

Ⅲ.生物多様性の保全



● 生物多様性保全に配慮した管理

園内に生息する野生動植物のモニタリング調査を実施し、これを踏まえ維持管理を行っています。具体的には、昆虫類に配慮した草地の高刈り、園内ビオトープの適正管理、外来生物の防除、森林の密度管理などに取り組んでいます。

● 環境教育の推進

動物、鳥、昆虫、植物などの観察会を実施し、実際に触れ学ぶことにより、子供には初めての出会いの場として、大人にはリカレント（再教育）の場として利用し、身近な自然の大切さを伝えています。

● 野生鳥獣の保護や治療

人間の社会活動に起因して、ケガを負ったり病気になった野生鳥獣を保護・治療し、野生に帰す取り組みを行っています。



外来植物の除去



カブトムシウォッチング

IV. 学びの場としての場を提供



● 誰もが気軽に参加できる学びの場の提供

子どもの学びの場として、自然観察会や造形あそびなどを行うほか、公園の利用マナーを子どもの目線で伝える利用指導を行っています。また、遠足や部活動など、学校教育の場としても活用していただいています。生涯学習の場としては、ガーデニングや庭の手入れ、門松作りなど、様々なニーズに応えられるよう、各公園の特性に応じた様々な講座を開催しています。



フラワーエコガーデニング教室



門松作り教室

V.すべての人が安全・安心にすごせる管理



● 質の高い公園、施設管理

すべての人が安全、安心にすごせる公園、施設とするため、日常点検はもとより、一斉点検を定期的を実施し、ハザード（事故につながる危険性）の除去に努めています。また、監視カメラを設置するなどし、園路やベンチ、遊具、グラウンドなどを適切に管理しています。

● ユニバーサルデザイン

車椅子やベビーカーの貸出し、バリアフリートイレの充実、園内看板・施設内サインの整備、筆談への取組みなど、誰もが安心して利用できる公園、施設管理を進めています。

● 子育て支援

授乳スペース設置の推進、親子で楽しめるイベントの充実等、子育てしやすい社会づくりに貢献しています。

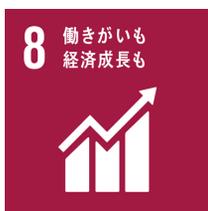


園内清掃の様子



車いすの無料貸し出し

VI.地域との協働による管理



● パートナーシップ

自治体・市民団体・ボランティアの皆様と協働した管理やイベントの実施を推進しています。また、企業CSR活動の受入れを促進し、様々な立場の人や組織との繋がりを築いています。

● 市民参加型の公園管理

利用される個人・団体の方々からのアンケートやご意見は真摯に受けとめ、事業の改善を行っています。



まちなか祭り



アンケート調査を反映させた
トイレの洋式化

VII.その他の取組み



● こどもを対象としたイベント

クラブ活動やかえっこバザールなどにおいて、性差を問わず幅広い年齢層が、自由な意見交換を通して活動する場の提供を行っています。



● クリーンエネルギーの活用

自発電式の自動水栓の設置など電力消費無しでの公園運営に努めています。



● こどもを対象としたプログラム

パッケージクラフトなど、リサイクル素材による造形プログラムの実施や展示、かえっこバザールにおける、不要になったおもちゃの交換や、ガラクタアートを実施しています。



● 水辺のイベント

毎月(4～11月)、どなたでも参加できるカヌー体験教室を開催しています。開催前には運営スタッフで運河のゴミ拾いを実施し、海へ流れ込むゴミが減少するようクラブ活動で努力しています。



クラブ活動



カヌー体験教室